

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	再開発課担当課長 下平 和彦	
拠点-04 大船駅西口整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	再開発課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	各部各課
総合計画上の位置付け	分野	市街地整備	施策の方針	市街地整備の推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	大船駅西口の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安全性の向上を図るため。
効果	大船駅西口の課題の解決により、歩行者との車両分離による安全性と快適性の確保が図れる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路阿久和鎌倉線の未整備区間の解決策について、横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しの方針を決定した。 ・大船駅西口交通広場の取扱方針(用地取得)を検討した。 ・事業の推進に必要な資料作成等を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	0	5		当初予算(千円)	32		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	0	5	5	一般財源	32		
事業運営	人員配置数	1.3	1.2		人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	9,542	8,982		人件費(千円)	7,671		
	総事業費(千円)	9,542	8,987		総事業費(千円)	7,703		
事業費	市民1人当りの経費(円)	54	51		市民1人当りの経費(円)	44		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1. 減少している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	2. 事業の方向性は適切であるが、手法は見直す必要があり、あまり貢献できていない
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input checked="" type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しに向け、引き続き神奈川県及び横浜市と調整を図っていく必要があるため。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	都市計画道路阿久和鎌倉線の未整備区間の解決策について、横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しの方針を決定した。現在借地中の大船駅西口交通広場を、恒久的な公共施設として担保できるように取扱方針を検討した。

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しに向け、関係機関との協議を進めたが、合意には至らなかった。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	都市計画道路阿久和鎌倉線の未整備区間の解決策について、横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しの方針を決定した。 大船駅西口交通広場の取扱方針(用地取得)を検討した。 事業の推進に必要な資料作成等を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しについて、横浜市は、JRとの協定の縛りや町内会からの要望への対応が必要なことから、同計画(案)を存続させたい意向である。横浜市の状況も考慮し、阿久和鎌倉線の整備を同計画(案)で行わない旨の合意について、横浜市に理解を得る必要がある。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	都市計画道路阿久和鎌倉線の各県・市事業区間の整備状況(用地取得率)。							
団体名	鎌倉市	神奈川県	横浜市					
他市実績	目標100%	目標100%	目標100%					
	実績19.9%	実績96.3%	実績100%					
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	当該事業で行う都市計画道路阿久和鎌倉線の整備状況(用地取得率)について、神奈川県及び横浜市の事業区間と本市の事業区間を比較した。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	大船駅西口関連分科会開催回数					単位	回	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
横浜・鎌倉両市一体整備計画(案)の見直しについて神奈川県及び横浜市、本市の三者で情報共有等を図る必要があることから、調整の場となる同分科会の開催回数を指標として設定する。	目標値	1	1	1	1	1	1			
	実績値	1	0							
	達成率	100.0%	0.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---